

稲作情報 第1号 【育苗・土づくり編】

- ◎ 品種や地域に応じた育苗計画を立てましょう。
- ◎ コシヒカリは、5/15 植えを中心とした田植えをするためには、4/26 を中心とした播種をしましょう。
- ◎ 育苗期間中は、搬出直後から換気を徹底し、日中のハウス内が 25℃以下となるように管理して健苗を育てましょう。

1 健苗育成の目安

(1) 田植えまでの目安

品 種	種子消毒	浸 種	催 芽	播 種	搬出※	田植予定日	播種～田植
てんたかく	4/3	4/4	4/12	4/14	4/17	5/5	21 日
中山間地域 コシヒカリ	4/9	4/10	4/18	4/20	4/23	5/10	20 日
コシヒカリ	4/15	4/16	4/24	4/26	4/29	5/15	19 日
	4/24	4/25	5/1	5/3	5/6	5/20	17 日

(2) 種子消毒 ～10℃以上の水温を保つ～

- ・テクリードCフロアブル 200 倍液に 24 時間浸漬し、消毒中は1～2回網袋を動かしましょう。
- ・消毒中の水温が 10℃未満になると効果が半減するので、特に水に漬ける 1 日目は 12～13℃の水温を保ちましょう。

温

(3) 浸種 ～10～15℃の水温を保ち、積算温度 100℃確保を～

※てんたかくは、120℃を目安に！！

- ・酸素不足とならないよう、2日に1回は水を入れ替えるとともに、籾袋の上下を入れ替えましょう。
- ・遅い播種は浸種温度が上昇しやすいため、こまめに芽の状態を確認しましょう。

(4) 催芽 ～芽の長さをこまめにチェックを～

- ・育苗器を使う場合、袋に種籾をたくさん入れすぎず、上下段を入れ替え、袋を裏返すなどを行ってムラなく芽出しをしましょう。
- ・催芽温度は 30℃。ハト胸～芽長2mm 程度に揃えましょう。
- ・籾が手につかない程度まで種籾の水切りをしましょう。



[最適な芽の長さ]

(5) 播種 ～播種量を確認し、うすまきの徹底を～

乾籾 120g の目安

乾 籾	芽出し籾の容量	水切り後重量
120g	200cc	150g

- ・播種時には、ナエファインフロアブル 1,000 倍液を 0.5L/箱又はダコレート水和剤 1,000 倍液を1L/箱かん注しましょう。

- ・稲大將箱粒剤は、播種時(覆土前)に **イナゴ対策で施用** 散布量が 50g/箱になるよう調整しましょう。

(水稻育苗後にハウス内で野菜を作付けする場合は、田植え時にハウスの外で苗箱施用剤を施用)



[120g 播きの目安]

裏面に続く

(6) 出芽・搬出

- ・出芽は 30℃ で約 60 時間 (温度を確認！)。
出芽長は 1cm を目安とし、出し過ぎに注意しましょう。
- ・寒い日の育苗ハウスへの搬出は控えましょう。
- ・育苗ハウスの床土が均平であることを確認し、排水性が悪い場合はハウスのまわりに排水溝を掘りましょう。
- ・搬出時はかん水をして覆土を落ち着かせ、水不足によるヤケに注意しましょう。

日照がある場合は十分にかん水！

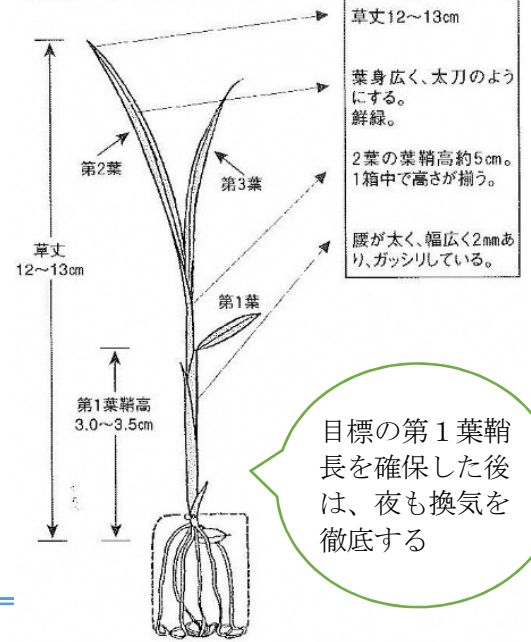
(7) 育苗期の管理

- ・白化苗を防ぐため、被覆資材を掛け、苗が黄色～黄緑色になったら外しましょう。
- ・かん水は基本的には朝に行い、覆土が乾いたら適宜かん水しましょう。
- ・搬出直後から 25℃ 以下となるよう管理し、日射があれば積極的に換気を実施しましょう。
- ・**第 1 葉鞘長が 3cm を確保したら、昼夜ともに換気を徹底しましょう。**



[搬出時のかん水]

[葉数2.5枚で植付け適期]



良い 稚 苗

草丈12~13cm

葉身広く、太刀のようにする。鮮緑。

2葉の葉鞘高約5cm。1箱中で高さが揃う。

腰が太く、幅広く2mmあり、ガッシリしている。

目標の第1葉鞘長を確保した後は、夜も換気を徹底する

2 「富富富」の管理

(1) 田植えまでの目安 (田植えは5月2半旬以降に実施)

種子消毒	浸種	催芽	播種	搬出※	田植予定日	播種～田植
4/13	4/14	4/25	4/26	4/29	5/15	19日
4/22	4/23	5/2	5/3	5/6	5/20	17日

※コシヒカリ種子に比べ1~2日程度長く浸種してください。

※CEを利用される方は、5/15~20日頃に田植えを実施してください。(荷受け目安はコシヒカリ刈取後半)

(2) 種子消毒

- ・化学農薬を使用しない場合
温湯処理 (60℃・10分処理) 後、一度冷却し、浸種を開始しましょう。
浸種の最後の 24~48 時間を酸度 0.1% の食酢液で実施しましょう。
- ・化学農薬を使用する場合
テクリードCフロアブルを使用する(化学成分数:1)。※使用方法は、表ページを参照

(3) カビが心配又はカビが発生した場合

- ・カビが心配な方は、播種時にナエファインフロアブル1,000液を0.5L/箱かん注しましょう(化学成分数:1)。
- ・搬出後にカビの発生がみられたら、緑化期までナエファインフロアブル2,000液を1L/箱かん注しましょう。

(4) 箱剤の使用

- ・病害虫の予防として、稲大将箱粒剤を播種時(覆土前)に50g/箱施用しましょう(化学成分数:3)。

農薬を使用する場合、化学合成農薬の成分使用回数を合計で12成分以下となるよう考慮して散布してください。

3 ケイ酸質資材の散布

- ・氷見市内の土中有効態ケイ酸含量は年々低下し、稲の生育に必要な目標値を下回っています。
- ・秋に土づくり資材を施用できなかった場合は、春の耕起前に必ず施用しましょう。

ケイ酸質資材の散布量の目安

資材名	ケイ酸含有量	標準施用量
土力源	30%	100kg/10a
鉄田万太郎	20%	

農作業安全のポイント

- ◇ 農場の危険箇所を事前に把握・共有し、トラクター等での転倒、転落事故を防ぎましょう。
- ◇ 余裕を持った作業計画を立て、複数人での作業を心がけましょう。
- ◇ 機械の使用前に、点検し、正しい使用方法を作業員に周知しましょう。